

証券コード：4554



Fuji Pharma IR Report

第56期 報告書 2019年10月1日 → 2020年9月30日



FujiPharma



代表取締役会長
今井 博文

代表取締役社長
岩井 孝之

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている皆さまには深く感謝申し上げます。

現在我が国の医療用医薬品業界は、少子高齢化の進行に伴う社会保障費財源問題を背景とする薬剤費抑制政策をはじめ、安全性や品質に関する規制の強化、マーケティング活動に関連する制度の変化など、持続的成長を遂げるためにはこれまでにない創意工夫が求められる事業環境になっています。とりわけこの2020年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により医薬品情報提供活動に大きな変化がもたらされ、また、当社の主要領域である女性医療分野においては、菅内閣総理大臣の所信表明演説において不妊治療の保険適用化が言及され、女性の社会参画に関する有識者会議において緊急避妊薬を処方箋なしで購入可能とする方針案が示されるなど、新たな変化の兆しも見えてきた年となりました。

当社にとって2020年9月期は、10年後の「ありたい姿」を定めた2030年ビジョン、そして、「Fujiらしくをあたらしく」をテーマとした5年間の中期経営計画のスタートとなる年でした。今後も、社会や制度の変化に対応し、「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」、「富士製薬工業の成長はわたしたちの成長に正比例する」という経営理念のもと、医薬品の安定供給という製薬企業としての最大の使命を果たし、人の役に立つ富士製薬工業となるよう、弛まぬ努力を続けてまいりたいと思います。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社長メッセージ



更なる成長に向けて、 中期経営計画を着実に推進する

代表取締役社長 岩井 孝之

社長就任からの1年間を総括

私が当社の社長に就任して、1年が経過しました。私は就任時に「大きな将来像を描いて覚悟を持ってやりきる」「確固たる製品戦略の策定とメリハリのある資源配分」「経営理念の一貫した実践」の3つを重視すると宣言をしました。1つ目に関しては、本年5月に中期経営計画（2020年9月期～2024年9月期）を策定し、目指す方向を大きく定め、明確にしました。2つ目については、祖業であるジェネリックをコア事業としつつ、中期経営計画にて4つの成長シナリオを設定し、これに沿って経営資源の配分を進めていきます。3つ目に関しては、「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」、「富士製薬工業の成長はわたしたちの成長に正比例する」という当社経営理念のもと、これからも弛まぬ努力を続けてまいります。

2020年9月期の業績評価と 新型コロナウイルスの影響

2020年9月期の業績については、連結営業利益は3,139百万円となり予算比122.1%と大きく上回りま

したが、前年比では75.2%にとどまりました。

対前年比の主な減収要因は、当社の主力品である月経困難症治療剤「ルナベル®配合錠」のオーソライズドジェネリック発売による売上の減少、ブランド造影剤の契約終了、並びに2度の薬価改定の影響などで、前年実績には届きませんでした。製造受託品やタイの子会社OLIC (Thailand) Limited（以下、OLIC社）の業績は順調に推移し当初予算を上回る結果となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響ですが、本年4～5月の緊急事態宣言下において、造影剤を使用した検査の減少や、日本生殖医学会から不妊治療の延期を推奨する提言が出されたことによる受診の抑制が生じ、これら領域の製品の売上が落ちた時期がありました。しかし、7月以降は売上が戻り始め9月には期初予算を達成するなど、定量面における影響は予想していたよりも少なかったと認識しています。定性面においては、感染拡大リスク低減のためMRの医師との面会の制限などがありましたが、web会議システムを活用するなど、新しい情報提供活動のかたちを模索することができました。

中期経営計画の策定と4つの成長シナリオ

当社は本年5月に2024年9月期を最終年度とする中期経営計画を策定しました。この中期経営計画は、当社の2030年ビジョンに定める10年後の「ありたい姿」を実現するための中間地点と位置づけ成長シナリオを大きく4つ策定し、それを実行する為に9つの戦略を策定しました。1つ目の成長シナリオが、「女性医療領域No.1」です。これを達成するために、製品ポートフォリオの拡充、病院市場へのディテリング強化、周辺領域への進出を目指します。本年11月には、エムスリー株式会社（本社：東京都港区）との間でFSN-013に関する共同開発、及び、共同販売契約を締結しており、情報提供活動のDX化に寄与する取り組みを行います。^{※1}2つ目が「造影剤新事業モデル」です。新しい販売戦略や製品の差別化、次世代造影剤の研究などを通じて持続可能な事業にし、売上高を現在の100億円から120億円への拡大を目指します。

3つ目が「バイオシミラー国内No.1」です。2018年にアイランドのAlvotech hf.と日本国内におけるバイオシミラーの商業化に関する独占的パートナーシップを締結しており、同社が開発中のバイオシミラーにつき上記締結時に1製品、本年11月に4製品の計5製品、日本国内での開発及び販売について条件合意いたしました。そして4つ目が、海外です。ASEANや北米など成長が見込める海外市場を積極的に開拓していきます。ASEANにおいては子会社であるOLIC社が鍵となります。OLIC社は現在タイ最大のCMO^{※2}企業ですが、女性医療領域関連製品を中心に製造及び販売を開始していく方針です。また、世界最大の医薬品市場である北米は、今後も拡大が見込まれ、技術を高く評価してくれるマーケットです。現在は部門横断でプロジェクトチームを立ち上げ、社外専門家の意見も聴取しながら戦略を練っています。

時間軸としては、短期的には当社の強みである女性医療領域や造影剤で国内売上を確保しつつ、海外においては

ASEANを中心に売上を拡大していきます。その次のステップとして、バイオシミラーの売上を伸ばしていき、さらにその先に北米市場への進出が控えているというストーリーです。

富山工場への設備投資

そのために欠かせないのが、成長シナリオを支える基盤整備です。当社は医薬品メーカーとして患者さま、医療現場のニーズに応え、安心・安全な医薬品を安定的に供給するという責務があります。そこで本中期経営計画期間中においては、富山工場への設備投資を重点的に行うことにしました。その中でもホルモン製剤の製造ラインへの投資が大きなウエイトを占めます。ホルモン製剤の医療現場からの需要は年々増えてきており、これらホルモン製剤の製造能力を拡大させるため、新棟の建築を進めております。また、製造能力の増大に伴って製品の品質管理、分析能力の拡大も求められます。そこで、業務の効率化と製造能力拡大に対応する品質管理体制の確保を企図して、

本年8月に品質関連機能を集約した管理厚生棟を新築し、稼働させました。

新薬開発パイプラインと海外市場への進出

新薬開発パイプラインは、国内3つとASEAN2つの合計5つです。まず国内ですが、FSN-011-01はBesins Healthcare社から開発・販売権を取得した、日本で初めての更年期障害治療に伴うホルモン補充療法を予定適応とした黄体ホルモン製剤で、日本国内ではすでにPhase IIIが完了し、本年中に申請予定です。FSN-013とFSN-014はベルギーのMithra Pharmaceuticals社から開発・販売権を取得した女性ホルモンの新成分エストロールの製剤です。FSN-013は日本では月経困難症治療薬として開発しておりポストルナベルの位置付けです。既にPhase IIが完了し、2024年の上市を目指して来年春からPhase IIIへ入る予定です。FSN-014は更年期障害の製剤として欧米でMithra Pharmaceuticals社が

中期経営計画

中期経営計画は、2030年ビジョンに定める当社の10年後の「ありたい姿」を実現するための前半5年と位置付け戦略を具体化したものです。



テーマ

Fujiらしくを あたらしく

目的

新たなビジョンに基づく
中期経営計画

位置付け

2030年ビジョンの中間地点

成長シナリオ

- 女性医療領域No.1へ
- バイオシミラー事業の確立
- 持続的な造影剤事業への進化
- 海外事業の強化

富山工場戦略

	2019	2020	2021	2022	2023
錠剤棟新築	● ホルモン錠剤の製造/試験キャパシティー拡大 ● ホルモン錠剤製造の高い封じ込め技術 ● PIC/S GMP査察基準への対応	着工		PV開始	
アンプル/バイアル兼用ライン導入	● 注射剤製造キャパシティー拡大 ● 高薬理活性注射剤の高い封じ込め技術 ● PIC/S GMP査察基準への対応	着工		PV開始	
高活性マルチシリンジライン導入	● 多種シリンジ剤形と新製品への対応 ● CMOや欧米輸出等へのビジネスの拡大 ● 注射剤の技術力強化			着工	PV開始
管理厚生棟新築	● 品質関連機能集約による業務効率化とキャパシティー拡大 ● Data Integrity対応の強化	着工		竣工	

※1 詳細は2020年11月12日付のプレスリリース「エムスリーと富士製薬工業による『FSN-013』（月経困難症治療剤）の共同開発・共同販売契約締結について」
 ※2 Contract Manufacturing Organizationの略。医薬品の製造受託企業のこと。

PhaseⅢを実施中です。

ASEANでは、FSN-013を経口避妊薬として2021年にタイで製造販売承認申請をし、2022年の上市を目指します。また、FSN-014は欧州での承認取得後にASEANでの開発を進めてまいります。

サステナビリティと女性支援

当社は「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」「富士製薬工業の成長はわたしたちの成長に正比例する」の2つの経営理念の実践を通じて、社会の持続的発展に貢献できると考えています。2018年に社長を委員長とするサステナビリティ委員会を設置しており、また、本年10月からはサステナビリティ活動を専任するサステナビリティ推進課を設置し、活動を本格化しました。

これまで、具体的なサステナビリティの活動としては、スマホアプリ「LiLuLa」による女性の健康に関する啓蒙活動、女性アスリートの健康支援、日経BP総合研究所

主催の生理快適プロジェクトへの協賛などを行ってまいりましたが、医薬品の供給のみならず、これからも女性の活躍を応援する活動を続けていきたいと思っております。当社内においても女性管理職の割合を増やすなど、女性が活躍できる環境を積極的に整備してまいります。

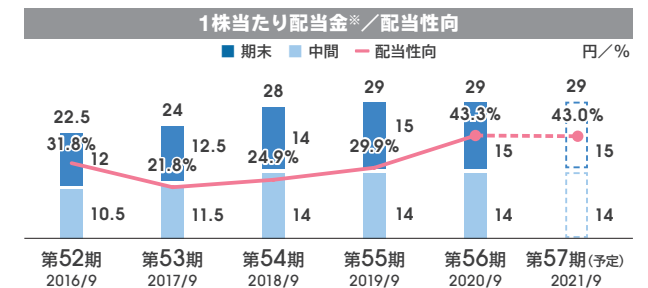
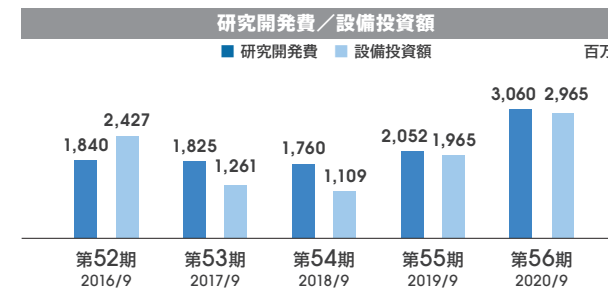
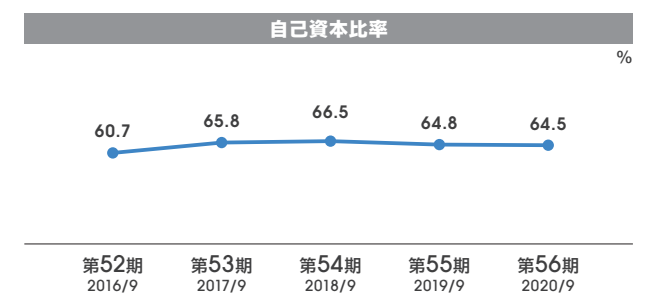
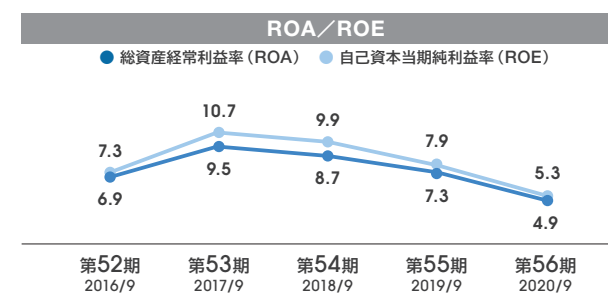
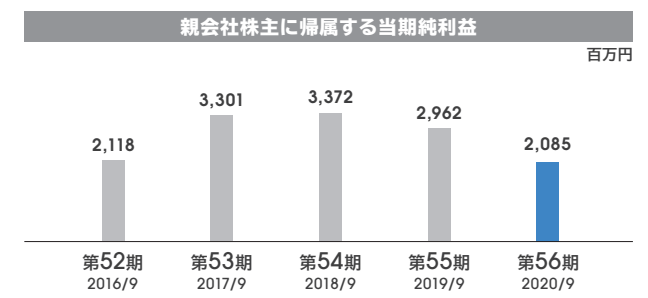
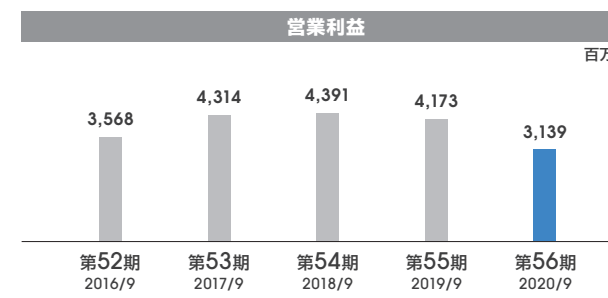
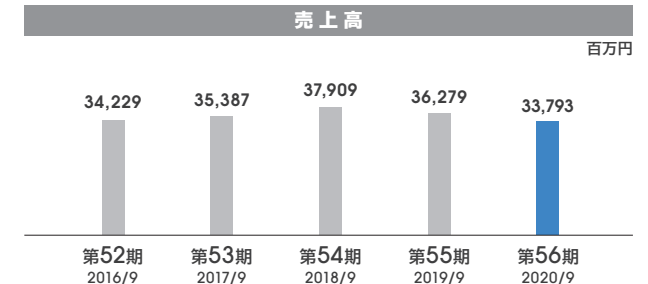
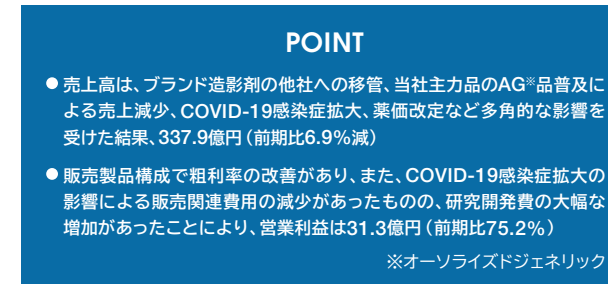
株主の皆様へ

中期経営計画の9つの戦略を着実に実行していくことで、2030年ビジョンで目指す1,000億円の企業グループへの成長に向けた礎を築くことができると考えております。そして、そのためには継続的な投資が必要と考えております。とりわけ研究開発には継続的に資金配分していくことが必要と考えておりますが、毎期の業績、中長期的な配当性向などを総合的に勘案しながら、安定的に株主の皆様へ還元できるようつとめていく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

		女性医療 新薬開発パイプライン					
		適応症	2020	2021	2022	2023	2024
日本	FSN-011-01	更年期障害	申請予定				
	FSN-013	月経困難症	Phase II完了	Phase III予定			
	FSN-014	更年期障害	欧米 Phase III 国内 Phase I				
ASEAN	FSN-013	避妊	EU/US	2020/2欧州、 2020/4米国申請済			
	FSN-014	更年期障害	EU/US				

※時間軸は当社目標時期



※2018年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、第54期中間配当以前は、当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金を算出してあります。

新任社外取締役 木山 啓子



事業活動を通して
より良い社会をつくる富士製薬へ

社外取締役
木山 啓子

- 特定非営利活動法人ジェン 理事・事務局長
- 一般社団法人教育支援グローバル基金 理事

富士製薬工業の存在を初めて認識したのは、中国古典の師から紹介された時でした。『徳』を人事評価の一部に取り入れている営利企業という志の高さに尊敬の念を抱きました。

『徳』が高い社員が多ければ、互いを尊重しあって働きやすい会社となり、社員自身も自分に誇りを持つことができるでしょう。すると新しく困難なことにも安心して挑戦できるので、創意工夫が生まれ、世界に役立つ新しいものを生み出すことができ、必然的に企業価値を高められると考えます。また、自社だけの繁栄を追求しないので、他社から無用な攻撃を受けることも少なく、厳しい時には手を差し伸べてくれる相手も出てくるかもしれません。

従ってSDGsを持ち出すまでもなく、富士製薬工業に

は持続可能なビジネスを続けられる土台があり、周りの人々から愛し愛される会社であると感じています。社員とお客様と株主の幸せを本当の意味で願い、新しい挑戦をし続ける富士製薬工業の社外取締役に任命し、小職に貢献できることなどあるのかと悩みましたが、現状では、徳の高さを更に発揮していただくために、現場の声をお届けできるのではないかと考えています。紛争地や被災地の同僚からは、治安も自然環境も厳しい中、懸命に生きる人々の姿が伝えられてきております。中でも女性たちの活躍は、余り表には出てきませんが、力強いものがあります。厳しい状況にある女性たちの声なき声も富士製薬工業を通じて世界に届き、富士製薬工業が更に徳を揮ってより良い世界を作られることの一助となれるよう微力を尽くさせていただく所存です。

新任社外取締役 荒木 由季子



サステナビリティを推進し
企業価値向上に貢献

社外取締役
荒木 由季子

- 株式会社日立製作所 理事
グローバル渉外統括本部 サステナビリティ推進本部長
- 国立大学法人岡技術科学大学経営協議会委員(非常勤)

富士製薬工業は、2030年ビジョンのもと、新たな中期経営計画をスタートさせたところです。どの製薬企業も、人々の病を治し、健康増進に貢献するという同じような目的を掲げていますが、その中で富士製薬工業には、「創業以来の変わらぬ経営理念の継承」と「新たな時代に向けた変革とチャレンジ精神」の融合を感じます。2つの経営理念を変わず大切に、社内の隅々にまで浸透させていること、また、女性医療を中心とした強みの分野をさらに強化していく戦略には、「時を超えて変わらない精神」があります。一方で、バイオシミラーや海外事業の拡大といった新たな分野への展開戦略は、現状に甘んじず、より良い企業への革新を遂げようとの「チャレンジ精神」を感じさせられます。

私は現在、社内でサステナビリティ戦略を担当してい

ます。世界が益々困難で複雑な課題に直面する中、企業が持続的な成長を遂げるためには、事業を通じて、経済価値だけでなく社会価値・環境価値を創出し課題解決に貢献することが必須です。社会価値・環境価値は、必ずしも財務指標に表れるものではありませんが、これらできるだけ見える化し、目標を設定し、社内の経営層から現場まで一体となって取り組むことを進めるとともに、社外の多様なステークホルダーにも発信・共有し、企業価値の向上につとめています。

このような私の経験を、富士製薬工業が新たな中期経営計画の成長戦略の1つとして掲げた「サステナビリティ」の推進に活かし、さらには、それを通じた企業価値向上に貢献できるよう、誠心誠意つとめてまいります。

サステナビリティへの取り組みを強化しています

当社では、2030年ビジョンの中で「世界の女性のwell-beingの向上に貢献している」「世界一幸せな会社と社会貢献が一体化している」をありたい姿として定め、また、中期経営計画の中では9つの戦略のうち1つをサステナビリティとして定めております。当社にとっての社会の持続的な発展への貢献の基本は医薬品の供給と考えておりますが、社会全体のリテラシー向上を目的とした女性特有の健康問題についての啓発活動や社内における女性活躍推進の施策などを通じて、社会課題の解決への貢献にも取り組んでまいります。

本年7月には当社Webサイトを全面リニューアルし、当社のサステナビリティに関する考え方、取り組みの内

容の記載を大きく追加いたしました。組織の社会的責任に関する国際規格であるISO26000の「7つの中核主題」の分類に沿って当社のサステナビリティに関する取り組みを整理して掲載しており、また、当社で実施したサステナビリティ活動の最新の情報を「サステナビリティ関連のお知らせ」にて公開しております。随時情報の発信を行っておりますので、ご覧いただけますと幸いです。



上記より当社サイトにアクセス可能です。
<https://www.fujipharma.jp/>

一般医療機器の新発売

本年11月に、一般医療機器「エルトラストVA」の販売を開始しました。本医療機器は自己投与に際して不安の生じやすい腔錠や坐剤等の医薬品を腔内にスムーズに導入するための専用アプリケーション（医薬品注入器）です。女性疾患領域の医薬品を多数取り扱っている当社が本商品を販売することで、患者さまのこれら不安の軽減に貢献できるものと考えております。



当社の医薬品に限らず、腔錠や坐剤の投与に使用可能です

生理快適プロジェクトへの協賛

当社は、日経BP総合研究所（本社：東京都港区）が主催する『女性のための働き方改革！「生理快適プロジェクト」』に協賛しております。これは、女性の体や生理についての正しい理解の促進、及び、社会全体のリテラシー向上を通じて女性が働きやすい社会の実現を応援したいという考えのもと発足された複数企業のコンソーシアムのプロジェクトです。



すべての女性の活躍のために — 新任執行役員メッセージ



世界の女性のwell-beingに貢献する

執行役員 経営管理部長
宇治 浩

当社では2030年ビジョンの「ありたい姿」の1つに「世界の女性のwell-beingの向上に貢献している」ことを掲げ、世界中の女性が身体的・精神的・社会的にも、すべてが満たされた状態に向けて、当社が積極的に貢献することを目指しています。当社は女性社員の比率が40%を超えており、女性の更なる活躍は当社の成長と貢献の拡大にも繋がるものと考えて

おります。今後は性別にとらわれずに多様な選択を可能とすることができるような制度と基盤の整備により一層取り組んでまいりたいと考えております。また、新たに「健康経営基本方針」を定めました。社員一人ひとりの健康保持・増進の取り組みは、人を大切にする当社の経営の原点であり、当社の成長と貢献を広げていく礎だと考えております。



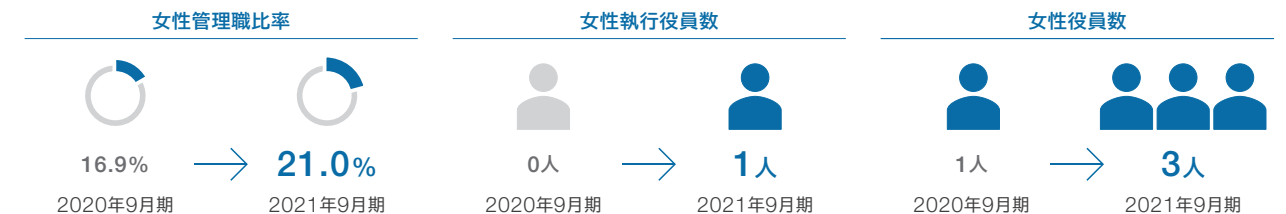
男女がお互いに尊重し協力し合える職場作り

執行役員 信頼性保証部長
澤田 聡美

信頼性保証部では新たに「総括室」を設置し、更に安全管理部門を2課体制から3課体制とする組織の見直しを行い、4部門体制（品質保証グループ、安全管理グループ、薬事グループ、総括室）でスタートしました。当部は女性社員の割合が高い部門でもあります。男女問わず育児休業が取得されており、それに対する協力体制が定着し、「お互いを尊重し協力し合える職場作り」が実践されていると感じています。

「患者さま及び医療関係者の皆さまへ高品質でより安全な医薬品を常に提供する」という使命に、各部門が相互に協力し、組織一丸となって取り組んでいます。また、業務効率化を目的として安全管理及び品質保証業務に関する新たなシステムも導入しました。57期以降も引き続き、業務効率化及び品質の向上を積極的に進めてまいります。

女性活躍関連データ



会社情報 (2020年9月30日現在)

会社名 富士製薬工業株式会社 (Fuji Pharma Co., Ltd.)
所在地 〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7
設立 1965年4月
資本金 37億9,910万円
社員数 連結：1,550名(富士製薬：779名、OLIC社：771名)
事業所 本社：東京
(2020年) 支店：北海道・東北、関東第一、関東第二、東海北陸、
(10月1日現在) 関西、中四国、九州
工場：富山
研究所：富山研究開発センター

海外グループ会社 OLIC (Thailand) Limited <https://www.olic-thailand.com/>

役員 (2020年12月18日)

代表取締役会長	今井 博文	取締役(社外)	ロバート ウェスマン
代表取締役社長	岩井 孝之	取締役(社外)	青山 直樹
取締役 副社長	笠井 隆行	取締役(社外)	木山 啓子
取締役 常務執行役員	上出 豊幸	取締役(社外)	荒木 由季子
取締役(社外)	小沢 伊弘	常勤監査役	井上 誠一
取締役(社外)	平井 敬二	監査役(社外)	三村 藤明
取締役(社外)	三宅 峰三郎	監査役(社外)	相良 美織

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 56,440,000株
発行済株式総数 31,253,800株
株主数 5,700名

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	6,875,000	22.05
有限会社FJP	4,332,200	13.89
今井 博文	4,052,750	13.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,286,800	4.13
新井 規子	1,240,000	3.98
Lotus Japan Holdings合同会社	1,219,300	3.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,137,681	3.65
今井 道子	846,000	2.71
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	641,500	2.06
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	636,956	2.04

(注) 1.当社は、自己株式68,379株(発行済株式総数の0.22%)を所有しております。
また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2.上記のほか、役員向け株式交付信託の信託財産として、三井住友信託銀行株式
会社が26,881株保有しています。
なお、当該株式は連結貸借対照表において自己株式として処理しております。

株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 毎年12月開催
基準日 定時株主総会 毎年9月30日/期末配当金 毎年9月30日/中間配当金 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)<https://www.fujipharma.jp/ir/announce/>
ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 <郵便物送付先>〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
<電話照会先> ☎ 0120-782-031
<ホームページ> <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第一部

●第56期期末配当金のお支払いについて

第56期期末配当金は、同封の「第56期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)で払渡期間内(2020年12月21日(月)～2021年1月29日(金))にお受け取りください。なお、銀行預金口座への振込をご指定の方には、「配当金計算書」及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください)。

●上場株式配当等のお支払いに関する通知書について

租税特別措置法の2008年改正(2008年4月30日法律第23号)により、当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りしております(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。なお、「支払通知書」は、株主様が確定申告をする際の資料としてご使用いただくことができます(株式数比例配分方式を選択されている場合は、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください)。



FujiPharma

富士製薬工業株式会社 Fuji Pharma Co., Ltd.

■IRに関するお問い合わせ

本社/経営企画部 〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7 精糖会館6F

TEL:03-3556-3344 FAX:03-3556-4455

<https://www.fujipharma.jp/>

